

令和 3 年度使用

# 中学校用教科用図書研究資料

美 術

教科用図書南那珂採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、図画工作科と美術科の関連を説明した「学びの地図」から学習をスタートし、「生命感あふれる表現」の鑑賞をはじめ、社会との関わり方やこれからの生き方や未来を考えさせることができるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、題材ページは、学習活動を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」に分けて提示し、各題材の学習の目標を示して明確にしたり、表現の題材では見開き2ページでの設定を中心に、鑑賞の題材では見開き4ページの大型図版が見られる題材を設けたりするなど、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める工夫が見られる。</p>
38 光村	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、3年間の美術科で何をどのように学ぶか見通せる学習からスタートし、「環境とともに生きる彫刻」の鑑賞をはじめ、美術科の学びを人生や社会に生かそうと考えさせることができるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、題材ページは、学習活動を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」に分けて提示し、各題材を、目標を確認する、鑑賞して表現につなげる、構想を練って制作する、鑑賞をして学びを深めるといった学習の流れが分かる紙面で構成したり、見開き4ページで鑑賞用作品の図版を掲載したりするなど、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める工夫が見られる。</p>
116 日文	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、中学3年間の美術科の学びを見通すことのできる「成長地図」の学習からスタートし、「人が生きる社会と未来」の表現・鑑賞をはじめ、自分と向き合いながら、将来の生き方を意識できるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、題材ページは、学習活動を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」に分けて提示し、各題材の学びの目標を示すとともに、表現と鑑賞が相互に関連していることを表すマークをインデックスに配置して、活動の見通しをもたせたり、見開き4ページで鑑賞用作品の図版を掲載したりするなど、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各領域の扉のページに、学ぶ内容や学習の魅力を示し、生徒に学習の意義と方法を理解させるような工夫が見られる。 また、「暮らしに生きる美術」を設け、美術の学習を通して培った力を生かし、これからの生き方を考えることができるような工夫も見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、必要なページに「美術の用語」欄を設け、造形的な特徴に着目することができるようにしたり、各題材に「学習のポイント」を示したりするなどの工夫が見られる。 また、各巻末に「学びの資料」を設け、制作の手順やポイント、用具の使い方を示すなど、制作に取り組みやすくするような工夫も見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各題材に「学習のポイント」を示したり、必要なページに双葉マークのコラムで発想や構想のヒントを示したりするなど、生徒がイメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。 また、作品の部分を原寸で掲載するなど、作品に豊かに関わることができるような工夫も見られる。</p>
38 光村	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、題材ごとに表現や鑑賞の際のポイントが問いの形で示され、生徒に学習の方法を理解させるような工夫が見られる。 また、「うつくしい」や巻末資料に「美術の力」を設け、美術の学習を通して培った力で、これからの生き方を考えることができるような工夫も見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、完成した生徒作品とともに、制作の手順が適宜掲載されていたり、他教科とのつながりを示すコラム等で知識を深めたりすることができるように工夫している。 また、各巻末に「学習を支える資料」を設け、材料や用具の使い方、色彩の特徴を示すなど、制作に取り組みやすくするような工夫も見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、表現中心の題材に、生徒が実際に試行錯誤しながら制作する過程を示したり、美術 2.3 の巻末資料に「発想を広げる」を掲載したりするなどして、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。 また、全ての題材において鑑賞活動を設定し、作品に豊かに関わることができるような工夫も見られる。</p>
116 日文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各分野のはじめに、導入ページを設定し、生徒に内容把握や学習の方法の理解を促すような工夫が見られる。 また、美術での学びを生かしている人々の言葉「学びの言葉」を掲載し、多様な考え方に触れ、これからの生き方を考えることができるような工夫も見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、題材名とともに学習する目的を示したり、「造形的な視点」を示したりすることで形や色彩などの造形の要素や造形的な特徴に着目することができるように工夫している。 また、各巻末に「学習を支える資料」を設け、材料や用具の取り扱いについて示すなど、制作に取り組みやすくするような工夫も見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、美術 1 の巻末資料に「発想や構想の手立て」を示したり、必要なページに発想や構想に役立つシーンを掲載したりするなど、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。 また、作品や作品の部分を原寸大で掲載するなど、作品に豊かに関わることができるような工夫も見られる。</p>

### 3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、題材に沿った「学習のポイント」で話し合う場を設け、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。</p> <p>また、誰にとっても読みやすいフォントを使用し、紙面のユニバーサルデザインを意識したり、各題材に QR コードを掲載して、教科書に掲載した作品以外の参考作品例などを見たりすることができるようにするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
38 光村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、題材の鑑賞作品に対して鑑賞の視点を設定し、対話を通して学習を進めるなど、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。</p> <p>また、誰にとっても読みやすいフォントを使用し、紙面のユニバーサルデザインを意識したり、題材の随所に QR コードを掲載し、作品制作の流れや見たい角度から立体作品を見ることができるようにしたりするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
116 日文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各題材に「造形的な視点」として対話が生まれるような問いを設け、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。</p> <p>また、誰にとっても読みやすいフォントを使用し、紙面のユニバーサルデザインを意識したり、題材の随所に QR コードを掲載して、作品鑑賞の動画や見たい角度から立体作品を見ることができるようにしたりするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 家庭や地域との連携を図ることができるように、地域の風土や伝統とともに美術があることを取り上げたり、地方の魅力を世界に発信した活動を紹介したりすることで、美術で培った力が地域社会をより良くすることに役立つことが分かるように工夫されている。宮崎県に関連する内容として、小林市の籐工芸が紹介されている。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、巻末には「学びの資料」を位置づけ、色彩や技法、用具や材料の知識や使い方などの基本的な内容を示したり、題材等の内容ごとに整理された、用具の使用や技法の動画等が見られるQRコードを掲載したりするなどの工夫が見られる。</p>
38 光村	<p>(1) 家庭や地域との連携を図ることができるように、私たちの身の回りはデザインであふれていることを紹介し、地域の良さを伝えるデザインを学習課題として取り上げたり、小中学生の作品展を紹介したりすることで、美術が地域の活性化等に役立つことが分かるように工夫されている。宮崎県に関連する内容として、都城大弓が紹介されている。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、巻末には「学習を支える資料」を位置づけ、色彩や技法、用具や材料の知識や使い方などの基本的な内容を示したり、題材等の内容ごとに整理された、用具の使用や技法の動画等が見られるQRコードを掲載したりするなどの工夫が見られる。</p>
116 日文	<p>(1) 家庭や地域との連携を図ることができるように、美術科の学習で身に付く力を分かりやすく明記したり、つくったものが地域とつながる事例を複数紹介したりすることで、美術科で培われる力が身近な社会に関わっていることが分かるように工夫されている。宮崎県に関連する内容として、日南市の生徒作品が紹介されている。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、巻末には「学習を支える資料」を位置づけ、色彩や技法、用具や材料の知識や使い方などの基本的な内容を分かりやすく示したり、教科書ごとにまとめられた、用具の使用や技法の動画等が見られるQRコードを掲載したりするなどの工夫が見られる。</p>